



**長 崎 県**  
**中 小 企 業 家 同 友 会**

**DOYU**

ニュース  
**21**

E-mail jim@nagasaki.doyu.jp  
 U R L https://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

**「私たち中小企業家が長崎県を牽引していく」  
 ～同友会の学びで時代の変化をチャンスに!～**

**第50回 中小企業問題全国研究集会 in 京都 参加報告**

日時：2月13・14日(木・金) 会場：国立京都国際会館

第6分科会

**若者に選ばれる企業づくり**

～新卒採用と共育で新しい未来を創る～

(株)トヨコン 代表取締役 **明石 耕作 氏**

【アドバイザー】 花園大学教授 名古屋大学名誉教授 **植田 健男 氏**



島原支部 北浦 雄一

物流サービスを営む(株)トヨコンの明石さんの労働環境整備の取り組みや採用活動・共育の報告とアドバイザーの植田氏より教育者の立場からみる若者の現状と企業経営者への期待をお話いただきました。

まず、明石さんの報告では、14年前から新卒採用を開始したが当初は定着率が低く、社風や理念に共感



する社員の定着率が良いことに気づき、理念、社風共感型の採用活動へと転換。採用活動にあたっては経営者自らが情熱をもって未来像を描き語るが必要だと気づきました。社員一人一人が働くことへの喜びを実感できる社風が必要で、また会社がもっと人間らしく成長したいという願いにこたえられる場となる必要があるのだと感じました。

植田氏からも、働く場が「人間的自立」の追及の場となることが必要で、教育現場と同様に会社も人が育つ場であることが重要なのだと報告されました。お二人の報告から今後の採用活動にあたっては労働環境整備や仕組みづくりだけでは自主的社員の確保は難しく、会社を人間的成長の場、やりがいのある職場とする社風づくりも必要だと気づきました。今回一番心に残った一言「価値ある本物に仲間と出会う」。

**目次**

第50回 中小企業問題全国研究集会 in 京都 参加報告	1	事務局企業訪問	15
各界からの提言	3	新入・交代・復会会員紹介	16
2月例会報告	4	働く環境づくり強化月間(3月)	17
第27回 中同協青年部連絡会 in 京都 参加報告	10	理事会報告	18
第2回 SDGs 勉強会 開催報告	11	第49回 定時総会の案内	19
福祉の森グループ創立10周年記念祝賀会 開催報告	12	会員動向・会員数	19
会員活躍	13	4月例会・支部総会案内	20

また、2日目はLINE(株)執行役員の江口氏のより「足元にあるブルーオーシャン」をテーマに講演いただきました。3.11のあと災害時利用の観点から一気に市場を伸ばしたLINE。いかにイノベーションを起こせるか、完璧さよりもまず踏み出す勇気が必要なのだと、踏み込んでみたらまだ誰もやっていない商売がそこにあるのだとお話いただきました。LINE(株)の価値基準としている「WOW」には思わず友達に教えたくない感動や驚きという意味を含んでおり、経営におい

での判断基準、理念となっています。感動を生む企業活動には人を惹きつける魅力が詰まっていることを強く感じました。

変化の時代を生き抜く経営には、地域における自社の存在意義を考え、自社にできることは何なのかを考えて踏み出すことが必要なのだと気づきました。「地域企業」は地域で必要とされる会社。実践する覚悟を持ついい機会となる全研でした。

## 第10分科会

### 今あることに一手間加え、 それを誇り楽しみ、人生を豊かにする

～すべては企業理念を基に!

苦境に立たされた干物業界に挑む若き3代目の挑戦～

(株)下園薩男商店 代表取締役社長 **下園 正博 氏**  
 鹿児島国際大学 経済学部経済学科 准教授 **松本 俊哉 氏**

アドバイザー

諫早支部 古川 無逸



第10分科会の報告は、鹿児島阿久根市の干物加工業の会社の3代目である下園さんです。彼は、いわゆる斜陽産業である干物加工業において「ひと手間加える」というキーワードの企業理念を掲げ、それをもとにぶれないよう行動し、新商品の開発、売り先の開拓をして地域の発展も考えながら頑張っています。2017年に商店街の空きビルを購入しリノベーション

して、1階は店舗、2階は新製品開発、3階はホテルにして地元の情報発信としての役割も担っています。加えて、近年「まちの灯台阿久根」に有志10名程と1,200万円を出資、また市が300万円出資して会社を設立し、取締役就任しています。

新商品開発においては、プロのデザイナーとコラボしてコンセプト、商品ストーリー、デザイン等を独自の視点で提供しています。また、2019年3月に新工場を建設し、ハサップ対応も視野に入っているそうです。

何はともあれグループ参加者全員の感想として素晴らしい行動力と、資力、情報収集能力はハンパナイということでした。また、彼の一生の目標、夢は阿久根のウルメイワシで世界最高峰のアンチョビをつくることです。アンチョビは、仕込みから完成まで約1年間かかるとのことなので先の長い事業ですが下園さんなら実現しそうな気がします。素晴らしい報告でした。



## ＼ 資金繰りの心配から解放を! ／

ダイレクト・レスポンスマーケティングを導入し、貴社の売上拡大をお手伝いします。

令和2年2月1日より新事業(サービス)を開始しました。詳細は下記HPでご確認下さい。

<https://www.tkcfn.com/fukui>

福井義憲税理士事務所

検索

福井義憲税理士事務所 税理士 福井 義憲

福井 義憲 会員(長崎出島支部)

# 各界からの提言

長崎県立希望が丘高等特別支援学校 校長 川副 秀夫



## プロフィール

- 1964年（昭和39年）1月 長崎県対馬市厳原町阿連で生まれる
- 1986年（昭和61年）3月 鹿児島大学教育学部卒業
- 1986年（昭和61年）4月 長崎県立桜が丘養護学校勤務
- 2017年（平成29年）4月 長崎県立希望が丘高等特別支援学校 校長として赴任

現在、長崎県の特別支援学校では、長崎県教育委員会が策定した、「長崎県特別支援教育推進基本計画 第4次実施計画（2019年～2021年）」に沿って、教育を進めています。その第4次実施計画では、第2章 特別支援学校の教育の充実（2）個に応じた指導・支援の充実について ②キャリア教育・職業教育の充実が示されています。

具体的には、「知的障害特別支援学校高等部における職業教育の充実」「肢体不自由・病弱特別支援学校におけるキャリア教育の充実」の2点が新しく示されました。また、第3次実施計画から充実・継続する取り組みとして「特別支援学校キャリア教育充実事業」があり、（1）小・中学部、高等部の一貫したキャリア教育の充実（2）高等部における職業教育の強化（3）企業や関係機関と連携した就労支援の強化が示されています。

長崎県の特別支援学校では、高等部卒業生の就職率を向上させることを目指しています。本校においても、2015年度、2016年度は就職率100%を達成し、その後も高い就職率を保っています。教育活動においては、働くための力を育てるために、多くの企業と連携し

た取り組みを行っています。年間2回の就労体験実習（現場実習）の実施や就労体験をすぐに学校での活動に生かすためのデュアルシステム型現場実習も年間を通して行っています。また、外部専門家として実習活動等のアドバイスをいただいています。

本校は、1991年4月に高等部のみの養護学校として開校しました。開校時から社会的自立、職業的自立を目指す学校でしたが、2018年度に学科再編を行い、普通科に代わって職業学科を開設しました。2018年度の入学生から職業学科で履修し、職業的自立を強く意識した教育活動を行っています。今年度からは、2年生が職業学科の専門コース（生活サービス科ハウスクリーニングコース、ウエアクリーニングコース、流通サービス科事務流通コース、食品加工・接客コース、環境デザイン科農芸コース、木工コース）の3学科6コースに分かれて学習活動を行っています。これからも職業教育の充実とともに、現場実習・就職に向けた職場開拓や就労後の定着期におけるアフターフォローの充実などを進めていきます。会員企業の皆様の御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

## 長崎浦上支部 例会報告

日 時	2月20日(木) 18:30~21:00
会 場	長崎新聞文化ホール・アストピア
テ ー マ	継承3年を経て次の一手！ 目指す経営戦略
報 告 者	(有)山崎マーク 代表取締役社長 山崎 秀平 会員 (佐世保支部)
出席者数	35名(会員28名、ゲスト2名、他支部5名)



オリンピックイヤーで華やかな年の始まりかと思いきや、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い重たい空気が覆い、地域経済にとっても暗雲立ち込めるかも知れません。危機感がつのります。地方創生が提示されて久しいのですが、近年地方では個人商店さえ、人口流出や自然減による人手不足と売上減、または経営者の高齢化と後継者不足による廃業が相次いでいるものも現実かと思えます。しかし地域における賑わい(活性化)を語るうえで、忘れてはいけないのが、やはり私たち中小企業や小規模事業者と考え、昨年よりこの例会を企画いたしました。

山崎さんは、西海市に本社工場を有する41歳若き二代目。同友会会員の中でも地域の経営者の中でも若い世代の代表格でもあります。

「製造業の刺繍加工においても、社員の皆さんに自由な休暇取得を提示することで『働きやすさ』と家族的な雰囲気を創り上げ社風とし、図らずも『働き方改革』の先鞭をつけたかたちとなっている」

「製造と共に販売やサービスを提供する場として、佐世保市内にアンテナショップを開店。オリジナルグッズ、オリジナルサービスの開発などエンドユーザーとの接点の拡大を目指している」

「地元西海市の行事には積極的に参加し自社製品を販売している、また独自のイベントをも企画運営している」等々、地域に根ざした経営と自身の行動力を報告されました。

またこれらの活動の集大成として、その拠点を本社前に建設することも報告されました。

地域住民はもとより県内外から集客し、企業として西海市の自然や特有の文化をより多くの人に知っても



りたい！との一念です。次世代を担う地域の子供たちにとっても有意義なことです。

報告を受けて、ディスカッションテーマは、「山崎社長の地域に根ざした新規事業を

皆さんはどう思われますか？山崎社長にアドバイスを御送り下さい」「私たち経営者は地域活性化(賑わいを取り戻す)のために何をすべきですか？」の二段構えです。

- ・ Tシャツデザインコンテストを開催しモノづくりの技術力をアピールの場にはどうか？
- ・ 西海市の自然の魅力を活かしキャンプや自然サウナ体験、周遊ツアーの企画はどうか？たくさんのアドバイスは、モノからコトへ。さらにモノとコトの融合による相乗効果が狙いと考えました。これは、地域の活性化にとって重要なアイデアかも知れません。
- ・ 現状より広い商圈(県内外を問わず)の拡大を図るチャレンジしていく
- ・ 固有の風土風習なのか？「出る杭は打たれる」閉鎖的な雰囲気が残る地域(田舎)ではあるが、「若い衆」の活動、活躍を長い目で見守り次世代を育てていく土壌も重要
- ・ 後継者を育て事業を継続し、雇用の継続と創出、また地域経済への貢献こそが大事

ディスカッションは短い時間でもありましたが、地域の賑わい(活性化)へ向けてヒントが目白押しとなりました。これらをなすべき課題は多々あるものの、私たちが住む地域と次世代のために熟慮しなければならないと思います。

「限界集落」とか「シャッター通り商店街」だとか嫌な言葉が使われ、それに慣れてしまう怖さも、「小さくともいい例会」ができていれば何とか立ち向かえることができるんじゃないかと、そんな例会でした。

(文責 中村 勝志)



## 長崎出島支部 例会報告

日 時	2月25日(火) 18:00～20:30
会 場	ホテルニュー長崎
テ ー マ	経営指針づくりは、人を生かす経営の原点 ～仕事を通じてやりがい、生きがい、誇りと 喜びを目指す企業へ～
報 告 者	チェンジコンサルティング(同) 業務執行社員 宇土 敏郎 会員 (大村支部)
出席者数	46名(会員36名、ゲスト6名、他支部4名)



今年度より長崎出島支部の経営労働委員長を仰せつかっている社会保険労務士の横田と申します。同友会に入会してまだ2年足らず、経営労働委員会というより委員会活動そのものについての理解が不十分な私が今回の支部例会の担当をさせていただくことになった時、ま

ず頭に浮かんだことは、経営労委員会が目指すことをみなさんと共有したいということでした。そのため、報告者として県経営労働委員長の宇土さんをお招きし、上記テーマで「そもそも経営指針とは」という観点から報告を行っていただきました。

グループディスカッションでは、「あなたの会社は10年後どのようになっていますか?～そのためにあなたは何をしますか?」というテーマでディスカッションを行いました。事前のシミュレーションにおい



て、できるだけ身近なテーマでディスカッションしてほしいとの想いでテーマを決定したことが実を結び、各テーブルとも活発な意見交換が行われたようです。

個人的には、経営指針(経営理念)の根幹をなすというべき同友会の「労使見解」への理解をまずもって全会員が共有し「人を生かす経営」の実現を果たしていくこと、このことについて引き続き社会保険労務士としても経営労働委員会活動に関わっていくことを自覚した例会となりました。

(文責 横田 哲)

## 大村支部 例会報告

日 時	2月20日(木) 18:30～21:00
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	ひろがる無限の可能性 ～外国人技能実習生を受け入れてみませんか?～
報 告 者	(株)登利亭 代表取締役 野副 智徳 会員 (諫早支部)
出席者数	35名(会員33名、ゲスト1名、他支部1名)

平野さんのスローガン唱和、谷副支部長の挨拶から始まり、新入会員バッジ贈呈、ゲスト紹介の後、京都全研の報告がありました。

そして、(福)とみのはら福社会の堤さんによる事業所紹介では、保育と養育を実践していること、十数事業所の紹介と新規立上げ予定の事業の紹介がありました。障がいというものは越えるものであり、個人だけでなく社会全体で乗り越えるものであると力強い紹介



でした。

そして、野中委員長から今回の報告趣旨説明が行われ、野副さんから報告をいただきました。

野副さんの経歴、事業所の成り立ちの説明。1982年から始まった外国人技能実習生受入れの実情、50名未満の会社が受入企業の約8割を占め、ベトナム・中国といったアジア諸国が主な受入者の出身国である



ことの説明。面接から受け入れまでの流れ、受入準備と入国後の流れなどを数字と写真を織り交ぜながらの報告でした。費用に関しては、組合への費用は月換算で約6.3万円であることなど、そして主だったメリットは国際貢献・人材の確保・作業効率の向上・社内の活性化などを挙げていただきました。その中でも安定した人材確保・人材の定着が可能・採用コストの削減・事業規模の拡大が見通すことが可能であるとのことでした。デメリットは職種による雇用期間のバラツキ・費用の面・文化の違いによるトラブル・失踪のリスクなどを報告者



の実績を入れ込みながらのわかり易い説明でした。

グループディスカッションにおいては、農業関係は不人気であること、実習を終えた方を利用した海外展開も視野に入れることが可能ではないかなどの意見がありました。そして、住居確保など、費用は思った以上に発生するという率直な意見もでした。

避けては通ることができない人手不足という課題を直視し未来につなげる手段の一つであるということを変更して認識させていただきました。

(文責 本澤 崇)

## 諫早支部・青年経営者会 合同例会報告

日 時	2月20日(木) 18:30～21:00
会 場	ロイヤルベルズ諫早
テ ー マ	Diversity Management ～ダイバーシティ マネジメント～
報 告 者	(福)ながよ光彩会 理事 統括施設長 貞松 徹 会員 (長崎出島支部)
出席者数	46名(諫早支部32名、ゲスト7名、他支部7名、 青年経営者会11名(諫早支部及び他支部と一部重複))



今回は、青年経営者会との合同例会で、ダイバーシティマネジメントについての報告でした。

実際に実践されている貞松さんの報告を受け、今までダイバーシティ＝多様性という表面的な言葉しか理解していませんでしたが、こんなに広く深いもの、また優しいものだと思感しました。

「常識とは誰が決めた、誰の価値観なのか。」多様性

を学ぶ、最初の問いです。

今まで当然だと思っていた「常識」がどうも違っていったのかも、と会員皆驚きと戸惑いと共に、これからの働き方について大変勉強になりました。

「障がい者雇用の取り組みについて」「外国人雇用の状況について」「保護司との連携について」「LGBTQに配慮した環境の工夫」「高齢者雇用について」「これからのチャレンジ」など、盛りだくさんの内容に貞松さんは、ここまで考えて行動しているのかとびっくりしま



した。

たとえば、外国人雇用のために職員をスリランカ等に派遣し、外国人労働者の立場を実感してもらう。前科があっても再就職できれば再犯率が低いということ。LGBTQは人口の7パーセントということで、特別なことではないので、当然トイレや更衣室なども配慮した設備にする。等々、貞松さんの熱い思いが伝わってきました。

2月の青年経営者会の例会は県央エリアが例会担当だったことがきっかけとなって、諫早支部と合同で開催されました。報告者は出島支部所属で青年経営者会の会員でもある貞松さんでした。貞松さんには自社で取り組まれているダイバーシティに関する様々な取り組みについて報告していただきました。

貞松さんが理事を務めている(福)ながよ光彩会は老人ホーム、介護施設を運営しています。その施設の中では多くの方が働いていますが、ながよ光彩会では障がい者、外国人、前科者の方々も働いています。そういった方々を受け入れるための様々な取り組みについて詳しく説明していただきました。その他LGBTの方や高齢者の方に対する取り組みなども報告していただきました。

その後のグループディスカッションでは、ダイバーシティの実践とは？やはり相手の立場や思いを尊重する。最初から拒否せず相手を知り、受け入れるなど寛容さではないかと意見がでました。

「違う」ということを前向きに考え、働き方も多様化させることは、まさに「持続可能な開発目標」だと思えます。

(文責 諫早支部 三宅 ちはる)

また、ダイバーシティの取り組みの対象は社員だけでなく、利用者である高齢者の方々にもおよんでいる、という実例(習い事の先生になってもらう)を交えて説明していただきました。

貞松さんの報告内容は出席者の皆様にとっても印象的だったようで、例会後の懇親会のときも諫早支部会員の方を中心に質問攻めに遭っていました。

今回は初めて県央エリアが担当しておこなった例会でした。青年経営者会としては今後も県南だけでなく県央、県北エリアでも定期的に例会を開催していく予定です。例会を盛り上げていくために各支部の皆様にも積極的にお声かけしていきたいと思えますので青年経営者会をよろしく願います。

(文責 青年経営者会 北川 亮)

## 島原支部 例会報告

日 時	2月20日(木) 19:00～21:00
会 場	HOTELシーサイド島原
テ ー マ	ダイバーシティを知ろう ～長崎県ダイバーシティ委員会の取り組み～
報 告 者	(有)菅原産業 取締役 菅原 千代枝 会員(長崎出島支部) (有)東友建設 営業部長 寺尾 昌晃 会員(諫早支部)
出席者数	24名(会員21名、ゲスト1名、他支部2名)



島原支部2月例会は県ダイバーシティ委員会の前委員長である菅原さんと現委員長の寺尾さんに委員会の取り組みを報告いただきました。

報告では自社で雇用されている障がいを持った方の



作業内容や雇用に至るきっかけなどを動画や写真を交えて詳細にご説明いただきました。また障がい者雇用を実践している他支部の会員のインタビューや障

がい者雇用における補助金・助成金についての他支部の例会の様子もあり、報告を聞くまでは単純な作業のみをしている印象を持っていた会員も複雑な作業をこなす動画を見て障がい者雇用のイメージを覆されたようです。特に障がい者雇用を通じて、同じ理想を持つ仲間に出会い同友会へ入会をされた菅原さんのお話は印象に残りました。

グループディスカッションでは「障がい者雇用を戦力とした場合、あなたの会社でできる仕事はあります

か？」というテーマで4つのグループに分かれ議論が交わされました。

すでに自社で障がい者雇用を実践されている会員や雇用における助成金申請などのサポートを業務としている会員からの体験談、またこれから障がい者雇用を考えている会員とまったく考えていなかった会員からの雇用への問題点など様々な角度からの意見が飛び交いました。質疑応答の際にはゲストの高原特別支援学校・池田先生から障がいを持った生徒たちが普段いかに社会に出るための実習を学び一人一人の特性に合った進路を考え実現させているかのお話をいただきました。

今回の報告で業種や企業の規模に関わらず人手不足が深刻化している現在、企業も障がい者を雇用して働

く場を提供することが今まで以上に望まれます。一定数以上を雇用する企業には障害者雇用率制度が設けてあり障がい者を雇用することが義務とされています。私の会社でも数名の障がい者を雇用する義務があるのですが雇用しても中々長続きしないなど雇用の定着化が問題となっています。しかしそれは障がいの有無に関わらず企業に付いて回る課題です。労働環境を整備し、いかに適材適所に配置するか、どのように人と仕事をマッチングさせるか雇用する側にも資質が問われます。企業が貴重な人材を生かす手段を磨くこと、障がいをもっていても様々な業務に携わり社会へ貢献している方がいらっしゃることを学ばせていただきました。

(文責 池田 聖典)

## 佐世保支部 例会報告

日 時	2月18日(火) 19:00～21:00
会 場	avanti
テ ー マ	天職に出会えて～楽しむ営業～
報 告 者	(株)笑心一(エコイチ) 代表取締役 前田 忠信 会員
出席者数	46名(会員39名、ゲスト5名、他支部2名)



前田さんは2016年に開業、現在4年目、社員3名で産業廃棄物の収集や一般家庭のゴミ回収・遺品整理などの事業を行っています。前田さんの実家は前田釣具店という釣具店を経営しており、幼い頃からご両親のお客様に対する姿勢や働き方を見て育ちました。よく父から「人に迷惑をかけるな」「人の二倍三倍も働け」「お客様に挨拶をしろ」「金持ちになれ」と言われて育ったそうです。

さらに良く言われたことが、「誰のおかげで飯が食えているのか？それはお客様がお金を払って商品を買ってくれるからだ、そのお客様には頭を下げて感謝しろ！」その幼少期の頃に学んだことが前田さんの原点だということでした。「お客様といつも笑顔でコミュニケーションをとる」「会話をする中でお客様の困りごとに対してアンテナをはり解決を心がける」現在でも



前田さんが心がけていることです。

よくお客様に「楽しそうに仕事しているね」と言われるそうです。おかげさまで現在はトラックフル稼働で、それでも仕事が追い付かないほど順調に事業が進んで

いるそうです。また、人手が不足してきているので、社員を増やしたい、社員の育成をどうしたらいいのか？などの現在4年目を迎えての悩みなども包み隠さずにご報告されました。

前田さんの報告を聞いて、私は自分の原点とは何だろう？と考えたり、営業活動について考えたりなど、とても学ぶことが多かった報告でした。

また、前田さんが自分がやりたいこと、やらないといけないことを行うために、外注できることは外注し、社員に任せるところは任せるところにしていると言われました。4年目で順調に行っている、きちんと自分がやるべきこと、次のビジョンをきちんと考えており、すごいなと思いました。

(株)笑心一のキャッチフレーズである「なんだか頼れるゴミ屋さん」このフレーズに納得の報告でした。私ももっと仕事を楽しんでいきたいと思います。

(文責 府川 正樹)

## 北松浦支部 例会報告

日 時	2月25日(火) 18:30～20:30
会 場	松浦シティホテル
テ ー マ	(株)ライティアの経営計画発表
報 告 者	(株)ライティア 取締役常務 川久保 稔美 氏
出席者数	14名(会員11名、ゲスト3名)



今回の例会には、川久保さんに加え、代表取締役の古川氏も同席参加。同社が長年研究開発・製品化に至っている「ハイブリッド溶存酸素発生装置」の性能や実験成果、技術の応用による具体的な販路や、導入事例について惜しみなく報告いただいた。また、売上、利益の推移についても開示され業績課題についての報告もなされた。

同社が、開発された技術は農業漁業界に革命的成果をもたらす可能性を秘めており、質疑応答では、とりまとめられた質問にとどまらず、直接挙手による質問に移行し、活発な意見交換がなされた。



また、課題として業績に直結するような、営業活動や製品化が急務であるとの意見もあり、懇親会でも熱い意見交換がおこなわれた。

グループディスカッションでは「あなたは事業を通して何を取り組んでいますか？」のテーマで、こちらでも2グループに分かれて自社で取り組んでいる、各企業の強みとも言える営業方針やルーティン化した営業スタイルについて意見交換をおこなった。

(文責 前川 浩二)

## 五島支部 例会報告

日 時	2月19日(水) 18:30～21:00
会 場	福江総合福祉保健センター
テ ー マ	第2回全体ディスカッション ～グループ報告例会～
出席者数	13名(会員13名)

今回は合計13名の参加でした。うち1名は新会員の小柳一祐基さん。障害者の就労移行支援・就労継続支援を行われている(株)カネヒロの代表取締役です。本日バッジの贈呈が行われましたが、まだ30歳と若い小柳さん。どんな活躍をしてくれるのか楽しみです。

さて今回は昨年7月に続き2回目の全体ディスカッションでした。今回は全体を2つのグループに分け

- ・ 経営者になったきっかけ
- ・ 自社の強み
- ・ 悩みや弱み



・ 今後の展望  
・ 同友会で学んだこと、学びたいこと  
などについて、一人につき10分のディスカッション(5分の報告と5分の質疑応答)を行いました。結論から書きますが、両グループとも前回以上に活発な話し合いが行われました。1グループを6～7名の小集団にしたことで、間近で発表者の想いを聞くことができ、また感想やアドバイス、質問を直接伝えられるように



なりました。全員が発表者にも聞き手にもなるので、冗長になりがちな場が時を忘れるほど盛りあがること



かせるディスカッションだったと思います。

(文責 高細 圭一)

に繋がったと思います。

労使見解の解釈など難しい話も出てくるなか、業態も業界も異なるメンバーを2人のグループ長が上手にさばき、盛会のうちにタイムアップとなりました。

個人的な感想ですが少し内容を変えるだけで自社のミーティングや教育にも生

## 第27回 中同協青年部連絡会 in 京都 参加報告

日時：2月12日(水) 13:15～17:00 会場：コープイン京都

青年経営者会 会長 飛田 精一

議題1では、愛知青全交の企画概要等について議論され、長崎としても25名の参加目標を設定させていただきました。

また、2024年の青全交開催地選定についての議論では、愛知青全交の時にプレゼンを行い、投票で決めることとなりました。条件としては、開催時に現役であること、理事に承認されていること等がありました。

2030年ビジョン策定プロジェクトについては、本気本音の議論が展開され圧倒されました。

議題2では、各同友会青年部活動の現状と課題、展望についてパネルディスカッションを「近畿圏青年部サミット」を通して近畿ブロックの青年部役員で行われました。現在発展している県があれば、そこを全て真似している県もあり、自分たちにも当てはまるような現状や課題に直面しながらも前進していている実体験を聞くことにより学ばせていただきました。

1つ目は、実際に会社に生かしているのか(会社が発展しているのか)

2つ目は未来のために何をしないといけないのか(新メンバーの面倒をしっかりと見るといふ伝統をつくる)

3つ目は、リーダーが集まり会を運営していく(自社の現在が間違っているのか、合っているのかを確認



できる場である)

このすべてに共通しているのが、本気と本音で語っているのか!行動をおこしているのか!ということでした。

グループ討論では、「本気本音の付き合いをしていくためには」に絞られて、役員会後にもディスカッションをしたい、日ごろの付き合いからしか本音は生まれにくい等、いろんな議論がなされました。

今回も中同協青年部連絡会に参加をすることができ、全国の素晴らしい経営者の皆さんと交流をすることができました。また全国行事に参加できるように頑張らなければなりません。

専務理事 山口 善也

### 【議題1】青全交、青年部連絡会について

まず、①愛知青全交の企画概要等、愛知の副実行委員長より説明がありました。前回からの変更点として分科会の会場を2箇所追加、分科会終了時間の変更(17時15分終了)、その他に参加費25,000円(宿泊費別)、

などの説明がありました。分科会については23分科会ほとんどの報告者の選定が終わり、九州・沖縄ブロックからは鹿児島県の永田さんが報告されることが決まりました。続いて各県の参加目標の確認があり長崎同友会は25名の参加目標となりました。

次に②2024青全交開催地選定のスケジュールについて説明がありました。青全交開催希望の県は今後発

表される中同協青年部連絡会2030VISIONに則った開催意義や目的をプレゼンテーションで発表し、その中から各県1票ずつの投票によって決定することになりました。

次に③2030ビジョン策定プロジェクトについて梅田委員長より第2素案の発表と説明がありました。

「我々青年経営者で、次代へ誇れる豊かな世界を創ろう」

(青年経営者づくり) 学びを体現する次世代リーダーとして全人格的成長を遂げる

(企業づくり) 多様性を活かし、人と地域が輝く企業を創ろう

(同友会青年部づくり) 本気本音で関われる仲間を地域に増やし、世界へ拡げよう！

上記素案を基に6月の連絡会までに発表されるということでした。

次に④同友会運動の将来展望について中同協の中山幹事長から中同協設立50周年を迎えての10年ビジョンの発表と説明がありました。

1. 一人ひとりのすばらしさが発揮できる企業づくりをすすめます

2. 中小企業憲章の精神を体現し広めます

3. 強靱な組織をつくります

4. 同友会理念を実践し、世界へ発信します

上記ビジョンが発表されました。その後、各ブロックの活動報告と次の連絡会の開催予定が新潟女全校終了後(第28回2020年6月19日(金)13:00~16:00)



であることが確認されました。

## 【議題2】各同友会青年部活動の現状と課題、展望について

①近畿ブロック各県青年部代表経験者によるパネルディスカッションでは、近畿サミットに対する思いや合同例会の開催意義などが話し合われ、県によって様々な違いがありその違いを共有し成長に変えているところは素晴らしいと思いました。その後のグループディスカッションでは、青年部やブロックのあり方について討論し、何のために集まって青年部活動をしているのか今一度ひとり一人が再確認し主体的に活動しその姿を見せることによってお互いが切磋琢磨できる環境がつくられていくのではないかとというまとめとなりました。

最後の中山幹事長の挨拶では会員5万名達成に向けて若い力がとても重要であり短い期間ではあるが最後まで頑張ろうというお話で終了しました。

## 第2回 SDGs 勉強会 開催報告

日時：2月4日(火) 18:30~21:00 会場：「えきまえ」いきいき広場

講師：藤田 智絵氏(SDGs de 地方創生 公認ファシリテーター) テーマ：カードゲームで学ぶSDGs

出席者数：25名(会員17名、ゲスト3名、講師サポート 儀間 由里香氏、事務局4名)



あるべき未来に向けて国連がSDGs(持続可能な未来)を2030年までの目標として実施されています。

この勉強会では、カードゲームを使って未来の長崎を想定し、人口・経済・環境・暮らしの関連事業を起業し街をつ

くっていくものでした。プレイ中、人口減少・経済衰退が起こってゲームが先に進まなくなりました。これは今の長崎に当てはまることです。

例えば自社の不動産業においては、店舗賃貸を行えば、集客があり、経済効果が上がり、暮らしの向上に



つながります。行政と協力して長崎への移住者に空き家を提供すれば、人口増加につながります。エコ住宅を推進すれば、環境対策になります。

SDGsの17項目の中で何が当てはまっているのかに関心を持って取り組んでいけば、誰一人取り残さない社会に向けて繋がることを学びました。

【参加者の声】 ※アンケートより一部抜粋

Q. 本日の学びや気づきを今後の経営もしくは仕事において、どのように生かしていきますか？

- ・環境問題を考えながら仕事を進めていきたいです
- ・ひとりよがりではなく、皆さんと協力して経営、地域貢献の必要性を感じました
- ・取り組んで行くなら、無理せずできることから。全社で社員と共に共有し、実行していくことが大事だと思いました
- ・職場のSDGs勉強会に生かすことができます
- ・社員に共有し、我々の仕事がどのように社会に役



だっているのかを知らせて、仕事に誇りを持ってもらいたいと思います

(文責 長崎出島支部 梶原 由美)

## 福祉の森グループ創立10周年記念祝賀会 開催報告

報告者：(株)西海福祉の森 代表取締役 宮田 京子 (北松浦支部)

福祉の森グループは2019年10月20日に創立10周年を迎え、これを記念して2020年2月8日、サンパーク吉井様にて祝賀会を開催しました。

大勢のご来賓にご出席いただき、参議院議員 古賀友一郎様、佐世保市長 朝長則男様、県議会議員 吉村洋様、県議会議員 宮島大典様より、ご丁寧なる祝辞を賜りました。

吉井町の五蔵太鼓社中様には祝太鼓で、佐世保市の青嵐様には、華麗な演舞で華を添えていただき、また佐世保市議会議員長の崎山信幸様には乾盃のご発声を、水交会会長である外村尚敏様には、ユーモアを交えながらの万歳三唱で、会を締めくくっていただきました。

他にも、職員が業務の合間を縫って作成したビデオ

メッセージや、これまでのグループの歩みを映像化したものを上映。ご利用者様も一緒になって、メッセージに参加して下さったり、いつも作業している畑で撮ったものもあったり、各施設の特色がにじみ出たものとなりました。余興や上映を楽しみながら、各テーブルの会話も弾み、2時間の祝宴はあっという間に終わりを迎えました。

今後とも、引き続き、働きやすい職場づくりに取り組んでいくとともに、ご出席いただいたご来賓の方々、支えて下さる地域の方々、ご利用者様に感謝しながら、職員一同手を携えて一歩一歩着実に歩んでいきたいと考えています。



上記は創立10周年記念祝賀会の写真です。



上記は今年の新年仕事始め式の集合写真です。



毎年新年仕事始め式では、目標とする漢字一文字を決めます。今年の漢字は「歩」。力を合わせ、一歩一歩歩んで参ります。

# 会員活躍

長崎新聞 2月7日 佐世保支部 岩重 聡美 会員

## マスク1万5000枚支援 県立大が武漢・湖北大へ

新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大を受け、県立大は7日にも交流協定を結ぶ湖北大（中国湖北省武漢市）にマスク約1万5000枚を発送する。6日に木村務学長らが長崎市橘町町の在長崎中国総領事館を訪れ、迅速に届けるための協



援は、湖北大が最初に肺炎が発生した武漢市内にあることを心配した県立大の教職員らが企画。学内で募金を呼び掛けて購入した。総領事館では劉副総領事が対応し、「温かい支援に感謝したい」と述べたという。木村学長は「一日も早く普通の状態に戻すことを祈り、支援をしたい」と話した。

（山里悠太朗）

## 九州最大規模の斎場 メモリード、福岡に開業



最大1000人収容できる大斎場があるメモリードホール福岡

メモリード（総合本部・西彼長与町）は昨年12月、九州最大規模の斎場「メモリードホール福岡」を福岡市東区に開業。今月7日、関係者約500人に披露した。福岡県内の斎場は22カ所

目。建設会社が運営している。建設会社を買取った。2階建てで、最大千人を収容できる大斎場と、家族葬にも対応できる小規模のものを含め五つのホールがある。大斎場では社葬など大規模な葬儀開催を年間10〜20件目指す。企業の総務部門を対象に社葬セミナーを開くなどして、需要を開拓する。

また、7月下旬には同市西区に富裕層向けホテルを開業する。同社の結婚式場「ガーデンテラス福岡」敷地内で、福岡県内では同社初のホテルとなる。5階建てで、客室は広さ約40平方メートルが18室と約80平方メートルが1室の計19室。1階にはプールと、鉄板焼きなどのレストランを用意する。吉田昌敏社長は「葬儀場だけでなく、結婚式、ホテル、レストランといった事業も強化していきたい」と述べた。

（森田尚子）

（上）長崎新聞 2月8日 長崎浦上支部 吉田 清規 会員ほか  
（下）長崎新聞 2月14日 北松浦支部 坂野 弘樹 会員

## なつ香ブリブランド成長

### 平戸特産オレンジ、餌に使用



「なつ香ブリ」の餌の検査と出荷

平戸特産のサマーオレンジを餌に使った産卵の「なつ香ブリ」が年間約1万匹超えを誇るブランド魚として成長している。ほかに果実の香りが、年間を通して成長させているのが特徴。10日夜、地元で味わうが、あり、スーパーや飲食関係者約100人が得意や、すしなどを料理を味わった。平戸市浦上の水産加工・養殖業、坂野水産（坂野武志社長）が手掛ける。坂野社長は「カンを餌に使った産卵の「なつ香ブリ」を味わう。たごき、香ばし、上品な特徴のサマーオレンジ。平戸養殖に目を付け、生産する同市浦上の「養殖産」近藤雄平代表に依頼し、シユール加工したブリの提供を受け、2013年にブランド化した。オレンジの皮に抗酸化作用のある成分を含んでいるという。地元の水産会社から購入した12匹のブリの稚魚を浦上のいかに放流。5、6月には通常の餌で育て、10月に出荷する。12月には平戸養殖の皮を配合した餌を育てることで、魚特有の生臭さがなく、脂の乗りが良い4〜5匹のブリに育つという。

### 養殖「坂野水産」年間出荷1万匹超え

平戸市浦上の水産加工・養殖業、坂野水産（坂野武志社長）が手掛ける。坂野社長は「カンを餌に使った産卵の「なつ香ブリ」を味わう。たごき、香ばし、上品な特徴のサマーオレンジ。平戸養殖に目を付け、生産する同市浦上の「養殖産」近藤雄平代表に依頼し、シユール加工したブリの提供を受け、2013年にブランド化した。オレンジの皮に抗酸化作用のある成分を含んでいるという。地元の水産会社から購入した12匹のブリの稚魚を浦上のいかに放流。5、6月には通常の餌で育て、10月に出荷する。12月には平戸養殖の皮を配合した餌を育てることで、魚特有の生臭さがなく、脂の乗りが良い4〜5匹のブリに育つという。

## 「島すりみ食べ比べセット」県知事賞

（五島、しまおう）

新作展は、県民へPRし、県内事業者の新商品の開発意欲を促進しようと、県が1969年から実施している。県産の原材料を使用する県内で製造された商品で、2018年12月以降に市販化された新商品が対象。流通関係者やデザイナーら計10人が農産加工品・酒・飲料・水産加工品・菓子・スイーツ・加工品・日用品・その他の4部門から1商品ずつ最優秀賞を選び、その中から県知事賞を決めた。県知事賞の「島すりみ食べ比べセット」は、アジやイシ、アゴなどを使った5種類のすり身を詰め合わせた商品。講師で「味も良く、水産県産品まつりなどで展示販売する。」（山口紗佳）

### 県特産品新作展

県は本年度の県特産品新作展の審査結果を発表した。新設の県知事賞には水産加工品部門の「島すりみ食べ比べセット5種」（五島市、しまおう）が選ばれた。



最優秀賞に選ばれた（左上から時計回りに）「シユシュ〜と飲むジュレ」「空間用アロママスト聖夜のしずく」「島すりみ食べ比べセット5種」「MANGETSU」（県提供）

長崎新聞 2月15日 大村支部 山口 成美 会員  
佐世保支部 村上 庄司 会員

# 日本ベネックス 私募債発行で支援

## 十八銀が受託

十八銀行（長崎市）は、SDGsに貢献する団体に発行額の一部を寄付する「SDGs 私募債の1例目」として、一般産業用機械・装置製造業の日本ベネックス（諫早市）が発行した5千万円を受託した。

私募債は通常融資で資金調達するより発行コストがかかるが、企業は財務内容の健全性を社内外にアピールできるほか、寄付を通じてSDGs達成に貢献できる。寄付額は発行額の0.1%相当。寄付先は子どもへの支援に取り組む非政府組織（NGO）「セーザチルドレンジャパン」など複数あり、発行企業が選定する。親和銀行（佐世保市）は昨年11月以降4社から同種の私募債を引き受けた。

日本ベネックスは太陽光発電事業も展開しており、調達額はその開発資金などに充てる。寄付先として、環境保全に取り組む公益財団法人日本環境協会を選んだ。

同私募債を発行する狙いについて、小林洋平社長は「当社の活動と経営方針はSDGsと方向性が同じ。今後も達成に貢献していくという意思を表明したかった」とする。（後藤敦）

長崎新聞 2月18日  
長崎浦上支部 小林 征春 会員

### 犬塚弘絵画展実行委に助成 雲仙 親和銀ふるさと基金



石丸常務執行役員(左から2人目)から目録を受け取る犬塚さん(中央)＝雲仙市、「味彩花」

親和銀行ふるさと振興基金は19日、知的障害がある犬塚弘さん(51)＝雲仙市在住の個展開催を支えた「犬塚弘絵画展「酒びん×人生」実行委」(松村真美委員長)に助成金30万円を贈った。

犬塚さんは、幼いころから絵が好きで、特に酒瓶を好んで描いている。犬塚さんの作品を多くの人に見てもらおうと、犬塚さんが入居するグループホームを運営する社会福祉法人南高愛隣会(本部・諫早市)が中心

となり実行委を結成。昨年12月、県美術館で絵画展を開き約1500人が訪れた。贈呈式は同会の就労支援事業所「味彩花」であり、同行の石丸常務執行役員が犬塚さんに目録を手渡した。松村委員長は「個展は本人や家族、周りの喜びにつながった。誰もが芸術や文化活動に取り組める環境づくりに生かしていく」と謝辞。初の個展を終えた犬塚さんは「楽しかった。またやりたい」と目を輝かせた。(中村亮介)

雲仙市瑞穂町を拠点に活動する知的障害者のプロ和太鼓グループ「瑞宝太鼓」(岩本友広団長・15人)が3月7日午後6時半、長崎市魚の町の市民会館文化ホールで長崎公演(長崎新聞社など後援)を開く。メンバー3人が長崎新聞社を訪れ、「プロとして活動を始めた方々に感謝の気持ちを込めて演奏したい」とPRした。

瑞宝太鼓は社会福祉法人「南高愛隣会」(諫早市・田島光浩理事)の事業所の一つ。国内で年間約100公演を重ね、フランスなど海外での演奏経験もある。今年度は東京パリンピック開会式のアトラクションに参加することを目標に、練習に励んでいる。

長崎公演では、パリンピックへ向けて制作した新曲「WAT the Nippon」(ワザニ

### 瑞宝太鼓 来月7日長崎公演



長崎公演に向けて張り切る瑞宝太鼓のメンバー＝長崎新聞社

### 感謝の気持ち込める

「パトリ」約10曲を勇壮なほらばきで聴かせる。

メンバーの坂田「星さん」は「一人一人の個性は異なるが、演奏ではいつたり息が合う。舞台上輝く姿を見たい」と話す。

チケットは、全席指定一般3千円、高校以下・障害者手帳所持者は半額。返屋ブレイカイド、チケットぴあなどで販売中。

▼チケットプレゼント  
3月7日の長崎公演のチケットを50組に、はがきに郵便番号、住所氏名、年齢、電話番号を明記し、〒830-0056、長崎市恵美町4-5、ベジワンランニング株式会社「瑞宝太鼓チケットプレゼント」係に送る。3月5日午後、チケット購入、プレゼントの問い合わせはベジワンランニング(電095-821-1400)。

(左)長崎新聞 2月21日 (右)長崎新聞 2月23日 長崎出島支部 田島光浩 会員

# 楽しく笑顔になるもの届けたい



「楽しく笑顔になるものを届けたい」と語る末次さん。＝長崎新聞社

末次 司さん

県内唯一の公認依頼絵師

### 写真を基に1500人超描く

末次さんは2008年から諫早市内のグリーンランドで働くようになった。幼いころから絵を描くのは好きで得意。客にそれぞれの担当を知ってもらおうと、チラシにスタッフの似顔絵を描き始めた。さらに、オイル交換や客席の清掃のお知らせの余白に、来店客の似顔絵を短い時間で仕上げたりしていた。「ちょっとしたお客さんに喜んでもらえるか」というも考えながら仕事していた。

14年、知から婦式のワレカムホドを描いてほしいと依頼を受けた。イメージが湧かず2日後には描きかけた。その後依頼が続いた。「技術を身に付けたい」と考えるようになり、絵の描き方を紹介する動画検索サイト「ユーチューブ」やインターネットを駆使しながら練習を繰り返した。

「友だちの似顔絵」と似顔絵を依頼しては島原の30代女性を依頼した。

性、ところが船日の前後、深夜に電話があった。家族に急な不幸があった。全員で写った写真がない。家族が並んだイラストを描いてもらいませんか。

船島は翌日午前、筆で描いた。約束の島原外港まで合わせて手渡すと女性に涙が奪われてきた。「自分の絵で人の心を動かせるんじゃないか。似顔絵を仕事にする決心がいった。」

画材は、先陣が絵の具になつていった油性マーカーがメイン。約100本のペンを備分ける。1人当たり15分程度着色まで終える。依頼人の顔を拘束しないため、対面ではかみ、送ってもらったお気に入りの写真を使うスタイル。これまでに延べ1500人以上を描いてきた。今年も初めて依頼も予定している。末次さんは「まだまだ似顔絵を仕事に選ぼうとしない。似顔絵を職業としていない」とベジワンランニングとして広めた」と話している。

問い合わせは、LEI(ライオン)やフェイスブックを運営する県制交サイトSNSの似顔絵アーティストAEOIから受け付けている。(山岡優希子)

長崎新聞 2月27日 諫早支部 末次 司 会員

# 事務局企業訪問

今回の企業訪問は佐世保支部のチャーターメンバーでもある(有)エムズ 川下 真文 会員を訪問しました。

## 【モデルハウス「エムズの家」】



国道204号線から松浦へ抜ける県道40号線沿い、佐世保市吉井町にあるモデルハウス「エムズの家」。外観はもちろんのこと、内装や導線、インテリアなど細部まで行き届いたデザインセンスは「普通の家」と一線を画すエムズ社自慢のモデルハウスです。「笑顔が集まる家」「丘の上に立つ家」など一つの作品ともいえるエムズ社が施工する住宅は、川下さんが間取りなどを考え、専務である息子の真廣氏(写真左。後方がエムズの家)が今風にアレンジを行い、設計事務所と連携しながら形になっていきます。1日1回は現場に赴き状況を確認するという川下さんですが「大手の工務店とは違い、受注から打ち合わせまですべて自分が担当窓口となるので工事などは施主のイメージとのずれを生むことなく進めることも強みの一つ」と話します。引き渡した施主からいただく「すごい」という満足の声も川下さんのモチベーションアップにつながります。

## 【エムズのスタート】

中学の頃に建築関連の仕事に憧れ、熊本で様々な会社で経験を積み佐世保に戻ってきた川下さんは当時立ち上げたばかりの(株)とみたメンテ社に就職します。1級建築士の資格を生かし20年勤続、2002年個人事業所としてエムズ・アーキテクチャーを立ち上げました。その後2004年に(有)エムズに法人化し、現在に至ります。専務、部長と3人で様々な現場を管理し、人口減の市場においてもこだわりがある家を提供し他社との差別化を図っています。

## 【同友会の存在】

1995年11月、とみたメンテ社の部長として佐世保支部の立ち上げと同時に同友会へ入会した川下さんで

すが、独立後は毎月の例会には必ず参加し、今なお皆勤賞が続いています。この皆勤賞の記録は約740名の会員の中でも群を抜く記録です。なぜ20年近く皆勤賞が可能になるのか、その理由は「優先順位が一番高い」ことにあります。同友会ではいろいろな学びの機会がありますが、川下さんにとって一番の学びは「人脈」です。横のつながりが薄い創業時、同友会に参加することで共に語り、仲間が増えてきました。財産とも言える人脈は他支部や他県にも生まれ、紹介での仕事受注にもつながっているそうです。仕事がほしいという色は出さずとも、仲間からの信頼を得て紹介につながる。このモデルは営業職がいなくても受注につながる川下さんの人柄ならではのあり、エムズ社の社風でもあると感じます。

## 【想い】

エムズ社の打ち合わせルームの壁にはたくさんの資格証や施工写真が並びます。その真ん中に額に入った経営理念がかけられています。

お客様の生命、健康及び財産の保護を図り  
誠心誠意 真心をもって  
お客様のニーズに応えます  
エムズ・アーキテクチャー

高校1年生、最初の建築の授業では建築基準法。その一章総則第一条には「生命、健康及び財産の保護を図り」と記されています。この授業で「医者は生命、健康の保護まで。建築はそこに財産が加わる」と教わったそうです。エムズ社の理念はこの最初の一文を引用し、個人事業として立ち上げた時から想いは変わっていません。

専務は別会社をつくり、「シェアリングジム」という新しいビジネスモデルも展開、もちろん川下さんも応援しています。しかし本業はあくまでもエムズ社という約束があります。佐世保支部でも新しいことに取り組む若い会員が増え、川下さんも応援する姿勢を持っていますが、経験則から教えてあげられることにはアドバイスを忘れません。新しい挑戦への支援と変えてはいけない根底の部分の部分を自分の中でバランスよくデザインしながら、今日も趣味であるラジコンのグライダーを平戸の大空に飛ばす川下さんです。今後のご活躍を心からお祈りいたします。

## <会社情報>

(有)エムズ  
〒859-6305 佐世保市吉井町直谷18-12  
電話/FAX: 0956-64-3793  
HP: <http://www.emuzu.jp/>

(文責 事務局 峰 圭太)



# 《働く環境づくり強化月間(3月)》

## 働く環境づくり強化月間(3月)

働く環境の定期的な見直しは、良い会社づくりにとって重要です。  
その第一歩として、強化月間に次の取り組みをしましょう。

- ① 毎年36協定の届出をする
- ② 社員とともに就業規則を見直す

※企業の方針で、別の時期に実施されることもあります。 その場合も、定期的に取組むことが大切です。



### 36協定が変わります

中小企業では、2020年4月以後の36協定期から「罰則付残業上限規制」が適用開始されます。

新製品、新技術の開発につなぐ、幹部を育て、社員教育を推進するなど、経営者としてやらねばならぬことは山ほどありますが、なによりも実際の仕事を遂行する労働者の生活を保障するとともに、高い志気のもとに、労働者の自発性が発揮される状態を企業内に確立する努力が決定的に重要です。  
経営の全機能を十分に発揮させるキープポイントは、正しい労使関係を樹立することであるといっても過言ではありません。  
(「労使見解」1. 経営者の責任より)

## 時間外労働の上限規制

特別条項を結んだ場合でも、要件を満たすためのチェックが継続的に必要です。

2023年には60時間超の残業は割増率50%になる予定であり、残業時間の削減は中小企業にとって大きな課題です。

労働時間の短縮は社会的趨勢としてとらえ、一步一步着実に進めていく必要があります。

### 適用猶予・除外

一部の事業・業務では、2024年3月31日まで適用が猶予されます。

また、適用が除外される業務もあります。

【猶予】建設事業・自動車運転の業務・医師・鹿児島県及び沖縄県における製糖製造業  
【除外】新技術・新商品の研究開発業務

時間外労働の上限規制は、各企業が提出する「36協定の始期」から適用されます。

例：4月1日始期 ⇒ 2020年4月1日より  
9月1日始期 ⇒ 2020年9月1日より

始期はとも重要です

## 36協定とは

労働時間  
1日8時間 及び 1週40時間

}

これを超えるには毎年1回  
36協定の  
締結・届出が  
必要です

休日  
毎週少なくとも1回

}

「36協定」は正式には「時間外労働・休日労働に関する協定」といい、労働基準法第36条に基づいて、締結する必要がある労使協定のため、このように呼ばれています。

労使協定を締結するにあたっては、社員の過半数で組織する労働組合、または投票や挙手等により選ばれた社員代表者と、会社の代表者が協定する必要があります。

管理監督者は社員代表者になることはできませんので、一般的には管理職以外の方から選出すると良いでしょう。

## 36協定の様式が変わります



- ✓ 特別条項が別紙になります。
- ✓ 労働保険番号と法人番号の記載が必要になります。
- ✓ 所定労働時間の記載欄(任意)ができます。
- ✓ 確認事項のチェックが必要になります。
- ✓ 特別条項発動手続きの記載が必要になります。
- ✓ 特別条項に健康福祉措置の記載が必要になります。

特別条項発動手続きについては厚労省の検討会で次のような分類がされています。  
① 予算、決算、経理業務、② 人事業務(採用・異動等)、③ 組織の統廃合、事務所移転、④ 事業計画の策定、⑤ 株主総会への対応、⑥ システムの大規模な導入・更改、⑦ 新制度・新企画の導入、既成制度等の大幅な見直し、⑧ 取引先都合による業務の繁忙、納期ひっ迫、⑨ 一斉顧客の集中による業務の繁忙、急激な増産等による人員不足、⑩ 取引先、官公庁等への対応、⑪ 顧客のクレームへの対応、⑫ 機械等の故障等トラブルへの対応、⑬ 防災、重大な事故からの復旧、⑭ 天候不順等の自然的な要因による業務増加、⑮ その他(事由不明を含む。)  
※第3回仕事と生活の調和のための時間外労働規制に関する検討会 H28.10.14

## 所定労働時間と法定労働時間

所定労働時間が法定労働時間(1日8時間、1週40時間)未満の場合、法定労働時間までの残業であれば、36協定は必要ありません。  
また、法律上割増手当を支払う義務があるのは、法定労働時間を超えた部分です。

## 所定休日と法定休日

法定休日として、少なくとも毎週1日の休日が、4週間を通じて4日以上必要です。  
週休2日制の会社で、法定休日は休んでいるが、それ以外の所定休日に出勤する場合は、36協定が必要な休日労働とはなりません。  
この場合でも、1週の労働時間が40時間を超える場合には、法定時間外労働となります。

【例：1日の所定労働時間が、7時間30分の事業所の場合】

所定労働時間	法定労働時間	法定外労働
9:00~17:30	17:30~18:00	18:00~
所定労働時間	所定外労働	法定時間外労働
所定の賃金	+ 通常の時間給	+ 割増手当(1.25)

## 働く環境づくりに取り組み、就業規則の見直しを

就業規則も定期的な見直しが必要です。経営指針の更新に合わせて、働く環境づくりの手引を活用しましょう。

求人票や雇用契約書に書くことをまとめただけで  
手間なく簡単にできる  
**就業規則の  
つくり方**

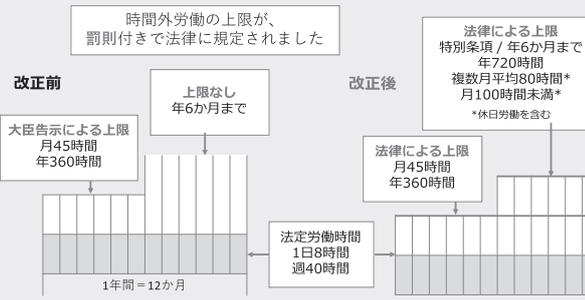
1人でも  
雇用したら  
作成しよう

ここから始める  
10人未満事業所の働き方改革

社員数10人未満でまだ就業規則が無い会社も就業規則づくりに取り組みましょう。

## 時間外労働の上限規制

法改正により、中小企業でも2020年4月から時間外労働の上限規制が始まります。  
通常の36協定の場合、残業時間は月平均30時間以内に収めなければなりません。



※詳細はe.doyu掲示板にも掲載しています。

## 労働時間の上限規制と、36協定新様式

より詳しい情報が必要な場合  
厚生労働省「時間外労働の上限規制 わかりやすい解説」  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000463185.pdf>



### 3月理事会 報告

新型コロナウイルス感染症対策のため 中止  
 / e.doyu 掲示板に掲示→承認依頼  
 3月3日(火) 14時掲示 3月5日(木) 15時迄意見聴取

#### 仲間づくりについて

- 1) 入会・交代・企業変更・退会の承認について  
 →入会16名・交代2名・企業変更2名・退会7名を承認
- 2) 仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について

#### 協議・承認事項

- 1) 来期に向けて
  - ① 大村支部・島原支部 活動方針案の確認について  
 →方針案を確認
  - ② 定時総会について  
 →予算(案)を承認
  - ③ 第27回 経営フォーラムについて  
 →予算(案)を承認
  - ④ 青年部 九州・沖縄ブロック合同例会in長崎について  
 →開催日(2021年1月22日(金))、予算(案)を承認

#### 報告・連絡事項

- 1) 2月 県本部・支部・委員会等の活動状況について

例会	1、各支部1月例会の「評価・検証」報告 2、座長・室長の役割について 3、2020年度に向けて ・例会企画書について ・2020年度の取り組みについて
経営	2-1 「経営者塾」の開催 ⇒各支部委員長に協力要請済 ・大村支部 ⇒2/27 経営者のための財務講座 開催予定 ・五島支部 ⇒2/2 経営理念作成セミナー ・諫早支部 ⇒2/21 経営理念作成セミナー 開催 2-2 「経営指針実践セミナー」の開催 ⇒2/22 第8回開催 参加者5名/申込み14名 +ゲスト1名 2/19 島原支部 第5回開催 参加者8名/申込み13名 2-3 県委員会と支部委員会活動の活発化 ・2/25 長崎出島支部にて

	宇土委員長 報告 ⇒経営労働委員会の活動報告 2-4 その他 第5次ビジョン達成に向けて ・アンケート実施→e.doyuにて配信 +各支部委員長が100%回収を目指 ※各支部委員長へ回収促進依頼中
情報 広報	1. 広報誌 編集会議 2. ホームページについて 3. e.doyu利用 ・1月アクセス状況は61% 4. その他・情報交換 ・e.doyuユーザー基本情報への顔写真追加について ・佐世保支部 ソーシャルメディア活用ガイド ライン導入について ・外部機関との定期的な交流の今後の検討 ・YouTubeによる情報発信について
仲間 づくり	2月18日 今年度最後の「仲間づくりの日」は、各支部にご奮闘いただき、多数の入会申込書をいただくことができました。ありがとうございました。 また、企業訪問や電話かけ等を行っていたことで、長崎県下一斉に同友会の事が語られる日となったと思います。今回は入会に至らなかった支部においても、近い将来の入会者と出会った良い時間となったと思います。
ビジョン	各委員会の“第5次ビジョン”進捗アンケートの結果を、三役・ビジョン委員へ送信。
ダイバー シティ	2月は、ダイバーシティに携わる例会が各支部で行われました。 諫早支部 「ダイバーシティマネジメント」 報告者：貞松 徹会員 大村支部 「外国人雇用」 報告者：野副 智徳会員 島原支部 「ダイバーシティを知らう」 報告者：菅原千代枝会員、寺尾 昌晃会員
青年 経営 者会	2/7 役員会。1月の県南エリア例会の感想報告、2月県央エリア例会への参加状況についてなど、また九州沖縄合同例会について議論しました。 2/20 に県南エリア例会が諫早支部との合同例会として開催、貞松会員によるダイバーシティの報告でした。

次回開催予定 4月8日(水) 19時 つくば倶楽部

# 長崎県中小企業家同友会 第49回 定時総会のご案内

日時 4月17日(金) 14:00～(第1部 定時総会)

第2部 記念講演 15:20～

## 「夢と感動を皆様に！」

～波乱万丈な我が人生、若者に支持される企業に至るまで!!～

(株)アクア (数々の人気番組のイラストを制作!)

代表取締役社長 原田 弘良 氏 (東京中小企業家同友会)



第3部 懇親交流会 17:10～(19:00 終了予定)

会場：パークベルズ大村 大村市幸町 25-30 TEL：0957-54-3131

会費：無料(懇親交流会参加の方は5,000円)

キャンセル期限 4月8日(水) 正午

※「議案書・2020年度活動のしおり」および決算・予算資料(後日送付)を必ずご持参ください。出欠のご回答は、e.doyuよりお願いいたします。----->



### 会員動向

#### ●企業住所等変更

粕谷 武史 会員 (諫早支部)  
新FAX番号：0956-41-4180

平山 玲子 会員 (五島支部)  
新会社名：(株)レイワ  
新役職：代表取締役

#### 退会者 (敬称略)

会員名	会社名	支部名	入会年月
古川 孝司	(株)Green	長崎出島	2019年 2月
杜 東	セブンイレブン大村池田1丁目店	大 村	2018年 1月交代
富永栄一郎	元 (株)富建	大 村	1989年 8月
永吉 杏奈	(有)雲仙有機	島 原	2014年 3月
永吉 誠	(有)壽物産	島 原	2012年 3月
河野有希也	洋食屋 ル・フルーヴァン	佐世保	2018年 5月
酒見慎一郎	クオリム(株)	佐世保	2018年 9月

#### 会 員 数 (3月1日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	134	130	125	100	90	200	45	38	900
期首	113	112	97	91	68	181	42	31	735
現在	111	113	102	89	65	179	37	33	729

## 書籍の紹介

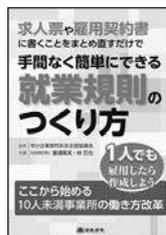
### 働く環境づくりの手引き



本書は、「働く環境づくりのガイドライン」の作成・運用を通して働く環境の見直し・向上を進めるための手引きです。「働く環境づくりのガイドライン」は、社員の「働く環境」について現状や課題などを把握し、より良い方向に改善していくための総合的な考え方・方法を示したものです。

A4判 93ページ / 頒価 2,000円

### 就業規則のつくり方



本書は、「就業規則を労働基準監督署に提出する義務が無い」とされている10人未満の会社で活用されることを目的にしたものです。求人票、雇用契約書などをベースに3ステップで簡単に就業規則をつくる方法を提案しています。(中同協監修 日本法令刊)

A5判 63ページ / 定価 (本体 500円 + 税)

購入を希望される場合は、同友会事務局 (095-822-0680) までご連絡をお願いします。

## 4月例会・支部総会案内

他支部の例会情報は、ホームページや e.doyu から閲覧・参加申込可能です。

※新型コロナウイルス感染症の対応措置として3月中の行事を中止しております。

4月以降の行事開催につきましては、3月26日の三役会にて協議し、改めて告知させていただきます。

### ●長崎浦上支部・長崎出島支部合同例会

日 時 4月21日(火) 17:00～21:00  
会 場 ホテルニュー長崎  
内 容 支部総会

17:00～18:00 長崎浦上支部・長崎出島支部総会  
18:00～19:00 中同協働柄相談役記念講演  
19:00～21:00 懇親会

### ●大村支部

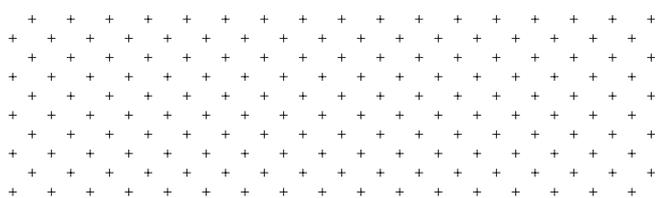
日 時 4月23日(木) 18:30～21:15  
会 場 長崎インターナショナルホテル  
内 容 支部総会

### ●諫早支部

日 時 4月22日(水) 18:30～21:00  
会 場 四季の蔵 食楽亭  
内 容 支部総会

### ●島原支部

日 時 4月23日(木) 19:00～21:00  
会 場 HOTELシーサイド島原  
内 容 支部総会



### ●佐世保支部

日 時 4月21日(火) 18:30～21:00  
会 場 グランドファーストイン佐世保  
テ - マ 支部総会

### ●北松浦支部

日 時 4月20日(月) 19:00～21:00  
会 場 松浦シティホテル  
内 容 支部総会

### ●五島支部

日 時 4月24日(金)  
会 場 調整中  
内 容 支部総会

### ●青年経営者会

日 時 調整中  
会 場 調整中  
内 容 調整中



## 投稿募集のご案内

DOYUニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。  
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数/約500字

●画像/歓迎します

掲載/情報広報委員会にて選考

投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで

メール/jimu@nagasaki.doyu.jp



## 折込サービスのご案内

会員企業の皆様が制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月20日～月末に行います。支部指定も出来ます。

**A4チラシ1枚5円**です。**A3チラシは2枚分**となります。ご利用お待ちしております。